

# Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology  
福岡工業大学

この件のお問い合わせは入試広報課へ  
TEL : 092-606-0607  
MAIL : nkouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2025-249  
3月03日～3月23日

地域貢献

粕屋町社会福祉協議会 × モノづくりセンター

## 「こども理科実験教室」を開催 アミノ酸と吸水ポリマーの実験と芳香剤の制作を行いました

2月7日（土）、粕屋町の原町区公民館にて、本学モノづくりセンターの「理科教材開発プロジェクト」が、子ども達を対象に化学に関する実験やモノづくりの体験イベントを実施しました。

本イベントは、粕屋町社会福祉協議会様と親の学び舎様が開催する「かすや地域食堂 & 社協こども理科実験教室」の一環として行われたもので、未就学児から小学6年生までの21人のこどもたちとその保護者が参加しました。

当日は、理科教材開発プロジェクトのアドバイザーである生命環境化学科の三田教授・桑原教授、そしてプロジェクトに参加する学生3名が講師を務めました。参加者は、自分たちの手から出るアミノ酸を紙に付着させ、溶剤を使って手形を浮かび上がらせる実験や、吸水ポリマーがどれほど水を吸収するかを観察した後、塩を加えることで水が排出される仕組みを学びました。

アミノ酸の手形実験では、こどもたちはきれいな手形を浮かせるために何度も試行錯誤する姿が見られました。また、吸水ポリマーの実験では、予想以上に大量の水を吸収する様子や、塩を加えると水が出てくる仕組みに驚きの声が上がっていました。

実験後は、色とりどりの吸水ビーズを使ったオリジナル芳香剤を制作しました。こどもたちは、好きな色のビーズを容器に入れ、気に入ったアロマオイルを垂らし、最後にマスキングテープを使って思い思いのデザインを完成させました。終始笑顔で取り組む姿が見られました。

今後もモノづくりセンターでは、学生のプロジェクトの高度化や理工系人材の育成を目指し、地域に根ざしたモノづくり教育に積極的に貢献してまいります。



アミノ酸について解説する三田教授



吸水ポリマーの解説をする桑原教授



講師を務めた教授と学生3人



体から出てくるアミノ酸を可視化する実験  
手形の他アミノ酸によるお絵描きも実施



吸水ポリマーに水を垂らしどのくらい吸収するの  
かを目で見て確認しました



芳香剤の制作の様子